

令和2年村上市議会第1回定例会  
一般質問通告書

質問順

2月28日(金) 午前10時開会	1	河村幸雄	1ページ
	2	竹内喜代嗣	3ページ
	3	川村敏晴	5ページ
	4	平山耕	7ページ
	5	大滝久志	9ページ
3月2日(月) 午前11時開会	6	高田晃	12ページ
	7	渡辺昌	14ページ
	8	山田勉	16ページ
	9	嵩岡輝夫	18ページ
3月3日(火) 午前10時開会	10	木村貞雄	19ページ
	11	稲葉久美子	21ページ
	12	鈴木いせ子	23ページ
	13	長谷川孝	25ページ

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 2 番） 河 村 幸 雄

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 地域防災力向上について	<p>近年各地で自然災害が続く中、昨年6月に、村上市で震度6強を観測した山形県沖を震源とする地震が発生しました。市民の生命・財産を守るために、防災・減災対策をもう一度高いレベルで加速させなければならないと考えます。防災意識が高い今こそ教訓を生かして可能な限りの対策・整備を進める必要があると思います。</p> <p>そのような観点から次についてお伺いいたします。</p> <p>水害から逃れるための避難行動の確立に向け、洪水ハザードマップが3月中に完成し配布されることですが、市は丁寧に活用方法を伝えるための説明会を開催してもらいたいと思いますが、どのように進めていくのかお伺いいたします。</p> <p>認知症の方、高齢者等避難行動要支援者の避難誘導の計画、体制、組織についてはどのように考えているかお伺いいたします。</p> <p>防災士の活動を更に推進すべく、今後の本市の支援方法と防災士養成の取組についてお伺いします。</p>	市 長
2 今後の部活動の在り方について	<p>学校現場では部活動の見直しが進んでいます。教員の働き方改革を推進し、負担軽減を図るため、スポーツ庁は部活動の行き過ぎた練習時間を抑えることを求めています。昨年1月に「村上市部活動方針」を策定していますがそれを踏まえ次についてお伺いいたします。</p> <p>部活動を学校単独で担うのは困難な状況であると思います。部活動指導員の配置・導入の現状を</p>	教 育 長

<p>3 積極的な企業誘致活動について</p>	<p>お伺いいたします。</p> <p>生徒数の減少などから各部活動の人数を確保することが難しくなる競技もあると思います。他中学校との合同で部活動を行うことや部活動の廃止・休止の判断など今後どう進めていくのかお伺いいたします。</p> <p>政府は、地方創生を打ち出し、東京一極集中を是正し地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げるべく各種施策に取り組んでいるところですが、東京一極集中に歯止めがかかりません。その一方で、企業も本社機能を地方へ移転するとの声もあります。</p> <p>本市において日本海東北自動車道は着実に建設が進み、若い世代がふるさと村上で働ける仕事の間を作ることが急務であると考えています。企業誘致を積極的に進め、先行投資の計画を立てる必要があると思います。市長のトップセールを大いに期待しているところですが、企業誘致の現在の取組についてお伺いします。</p>	<p>市長</p>
<p>[メモ]</p>		

一般質問通告書

質問議員(14番) 竹内喜代嗣

質問事項	質問要旨	答弁者
1 洪水対策について	<p>洪水が想定される気象予報時の事前放流として、豪雨や台風で前線が停滞しダム放流による河川氾濫が予測される場合に、ダムの水位を下げるために水を流して水位を下げることは、緊急放流を避けて洪水防止を図る必要がある、と国の見解が変わりました。</p> <p>事前放流可能な大石ダムの事前放流操作を国に要請する考えはありませんか。また、利害関係者との調整の進捗で羽越河川国道事務所と確認協議した結果の市長の見解を伺います。</p> <p>三面ダムと奥三面ダムについては、事前放流できない構造ということなので、最大浸水を想定した避難計画等の策定が必要となると思います。奥三面ダムと三面ダムに貯まった水は、昔の言い伝えどおり津波のように一斉に七湊や岩船三日市まで湛水するのではないかと。バックウォーター現象で朝日地区や山辺里地区では言い伝えにもない洪水になるのではないかと。災害拠点病院、コンパクトシティとして周辺整備される駅や病院は、浸水し全く機能しなくなるのではないかと、と心配しています。市長の見解を伺います。</p>	市長
2 耐震工事について	<p>住宅リフォーム事業補助金に合わせて耐震工事を実施できるように制度設計を行う考えはありませんか。</p>	市長
3 パワーハラスメント対策の実施について	<p>パワーハラスメント対策が事業主の義務となりました。職員、請負会社や指定管理者にどう徹底するのか市長の見解を伺います。</p>	市長

<p>4 合併時の職員賃金格差についての合意事項について</p>	<p>諸法規、特に労働三法が遵守されるよう請負会社や指定管理者に指導してほしいと思いますが、市長の見解を伺います。</p> <p>以下のような解釈がありますが、市長のご意見を伺います。</p> <p>「合併特例法第9条第2項においては、「合併市町村は、職員の任免、給与その他の身分取扱いに関しては、職員のすべてに通じて公正に処理しなければならない」と規定されています。これは、例えば、特定の合併関係市町村の職員であったことを理由に、その職員の勤務成績、能力等とは無関係に、他の職員と比べて給与その他の身分取扱いに関して不公平に処してはならない旨を定めたものです。そこで、新設合併の場合は、合併関係市町村の一般職職員の任用制度、給与その他の勤務条件について事前に十分検討・協議を重ねた上で、新しい市町村の発足後の任用制度、給与その他の勤務条件に関して、職員のすべてに通じて公正に取り扱われるよう取り決めを行う必要があります。」</p>	<p>市長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員(11番) 川村 敏 晴

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 森林環境税及び森林環境譲与税の活用について	<p>今年度4月より森林環境税譲与税が施行され、個人の森林を有する自治体とその都道府県に、総額で200億円が、それぞれの配分規定により交付されたと聞いていますが、本市にはいくらの交付がなされましたか。</p> <p>昨年の台風15号において、倒木による停電被害が拡大したことをはじめ、近年の森林の保水力が低下したことによる洪水氾濫、山腹崩壊そして流木被害などの甚大な被害が発生しました。これに対し森林整備の促進が挙げられ、政府はそのために地方公共団体金融機構の金利変動準備金を2,300億円活用し、交付税特別会計における譲与税財源の借入れを行わないこととした上で、森林環境譲与税の譲与額を前倒しで増額することにより、森林整備などを一層推進していく方針とし、令和2年度から200億円増額して400億円、令和4年度からは合わせて500億円、令和6年度以降は600億円とするとしています。</p> <p>このことから、国は森林整備に本腰で取り掛かるものと考えられます。</p> <p>しかしこの森林環境譲与税は、各自治体に配分される譲与税であり、これだけでは十分とは言えません。</p> <p>そこで、まずは新潟県内で本市が先駆けて、森林業務を学ばせる林業大学校か林業アカデミーを創設し、市内だけでなく国内から林業を学ぼうとする若者を集めるべきと思いますが、市長のお考えをお聞かせください。</p> <p>森林のない自治体が、森林環境税の使用目的を</p>	市長

<p>2 本市のスポーツ行政や健康維持促進政策と総合型地域スポーツクラブの運営について</p>	<p>満たした税金の活用をさせるには、国内の森林のある自治体との共同事業が不可欠となっていることは、高橋市長も十分承知のことと思いますが、いかに都市部から森林環境譲与税を村上市に取り込めるかが、手腕の見せ所だと思います。</p> <p>林業大学校や林業アカデミーのほか、本市で都市部の森林環境譲与税を取り込むための施策は検討していますか。</p> <p>令和元年第4回定例会における私の一般質問で、本市の5つの総合型地域スポーツクラブの運営に関して、健全な経営を維持するには、村上市の支援が不可欠ではないかとの問いに、市長は、総合型地域スポーツクラブは、1法人として運営されているものと考えているので、市として経営の補償について言える立場ではないと答弁をされましたが、改めて市長のお考えをお聞かせください。</p> <p>本市のスポーツにかかわる施策や高齢者の介護予防事業、そして小・中学校の体育授業支援等に各地区の総合型地域スポーツクラブが深く関わっている現状において、今後各地区の総合型地域スポーツクラブが本市のそれぞれの施策にどのように関わり続けられるのか、市長のお考えをお聞かせください。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（15番） 平 山 耕

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 建設作業員週休2日制への取組について	<p>新潟県は、建設業の完全週休2日制（土日現場閉所）の取組として、平成28年度から施工者希望型の試行を開始しました。土木工事ではこれまでに198件が取り組まれ、90件で達成（令和元年11月13日時点）され、平成31年1月から試行を始めた営繕工事でも31件中14件が達成しています。しかし、現在制度を導入した市町村は、新潟市、上越市、糸魚川市の3市にとどまっています。</p> <p>北陸地方整備局管内では、昨年週休2日制推進に向けた取組として、各発注機関が連携し、ゴールデンウィーク期間（10連休）の現場閉所を実施しましたが、結果として直轄工事491か所のうち430工事で10連休を達成し、工事箇所96%で5日以上現場閉所が行われました。</p> <p>本市ではどのような取組状況になっているか教えてください。</p>	市長
2 本市における整備済みインフラのメンテナンスについて	<p>高度経済成長期以降に整備されたインフラが今後一斉に老朽化し、メンテナンスに膨大な費用がかかってくると言われております。そこでインフラ長寿命化計画を策定し、将来的に増加するインフラコストの縮減、平準化を図る取組が始まって数年、道路や橋梁では5年に1度の定期点検が一巡し、二巡目の点検に着手しています。全国にある橋梁の数は約70万橋に上り、建設後50年を経過した橋梁の割合は令和元年度27%、10年後の令和10年には52%へ増加する見込みです。</p> <p>老朽化に起因した事故を未然に防ぐためには、定期点検と予防保全的修繕は欠かせません。橋梁の寿</p>	市長



	<p>命は一般的には50年とされていますが、近年建設されたものは約100年の寿命が推定されているそうです。</p> <p>そこで、安全・安心に重きをおいて機能を発揮するには、日頃のメンテナンスが大事だと考えますが、本市の取組や考え方について伺います。</p>	
--	---	--

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員(23番) 大 滝 久 志

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 林業・木材産業の活性化について	<p>村上市の林業・木材産業は、これまで長期にわたる木材産出額や林業所得の減少、森林所有者の経営意欲の低迷、国産材の生産、流通構造の遅れ等に直面し、厳しい状況に置かれてきました。需要に応じた安定的な原木の供給体制が構築されない等により森林資源が十分に活用されない状況にあり、適切な森林整備が行われない箇所も見られるなど、森林の多面的機能が低下し、その影響が懸念されるようになってきました。</p> <p>しかし、近年大型の製材工場や合板工場(CLTを含む)の整備、公共建築物の木造・木質化の促進、木質バイオマスのエネルギー利用等により木材需要の拡大を背景に、林業や木材産業に明るい光が見えてきました。</p> <p>そこで、以下について伺います。</p> <p>林業は、森林資源を「植える - 育てる - 使う - 植える」というサイクルで循環利用し、継続的に木材等の林産物を産出する産業です。村上市においては、人工林の50%を超える森林が50年生以上となり、森林資源が充実し使う時期となっています。大型製材工場や合板工場(CLT等)の整備が必要と思いますがどうですか。</p> <p>2月5日、新潟ユニゾンプラザで下越流域森林林業活性化センター主催による「森をはぐくむ地域づくり講演会」が開かれました。そこで森林サービス産業から新たな森と人とのかわりの提案がなされ、教育分野として、森の教室、森のようちえん活動等が報告されましたが、市有林や市行造林地で実行する考えはありますか。</p>	市 長

<p>2 持続可能なまちづくりについて</p>	<p>人口減少、少子高齢化が進む中、林業の成長産業化を支えるためには、山村振興対策が不可欠と考えます。山村の活性化に向けた「関係人口」の創出・拡大のため、森林空間を健康、観光、教育等の多様な分野で活用する「森林サービス産業」は、「林業の成長産業化」とともに山村振興・地方創生に取り組む車の両輪ということですが、山村振興のために森林サービス産業に取り組む考えはありますか。</p> <p>全国的な人口減少、超高齢化が一段と著しく進む今日、村上市においては、これまでの「人口増加を前提としながらのまちづくり」から「持続可能なまちづくり」へと意識改革していくことが強く求められているように思います。</p> <p>どこの地方自治体でも抱える問題は種々様々であろうと思いますが、限られた財源と人的資源を活かし、一層効果的・効率的に対応できる行財政運営の仕組みに再構築することが急務であるという認識の下に、行革・改革を合言葉に結局は歳出削減につながる方向へ進んだと思います。</p> <p>しかしながら、これからの「持続可能なまちづくり」を一層強く、そして強靱な体力と精神力の下に村上市の発展のため一步前に進めるには次の3点が必要と考えます。</p> <p>住民負担と行政サービスの関係をこれまで以上に明確にし、市民自らの選択に基づいた行政サービスの展開を図り、自助・共助・公助の適切な役割分担と連携を図ることにより、市民との協働を基調とした行政の展開を目指すこと。個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するために、人口減少社会等長期的視点に立ち、経常的経費の適正な執行、効率的財政投資等を図ることにより、健全で自立的な財政基盤の確保を目指すこと。長引く景気の鈍化、低迷や少子高齢化の進行の中で、真に安全で安心な暮らしのための質の高い行政サービスを効率的に提</p>	<p>市長</p>
-------------------------	---	-----------

	<p>供するため、都市経営、市民感覚という視点に立ち、サービス内容や提供方法の改善を進め、国県等の財源も積極的に活用しつつ「最少のコストで最大の市民福祉」の実現を目指すこと。</p> <p>これらのことにより、持続可能な新しい行財政システムが必要と思いますが、いかがでしょうか。</p>	
--	---	--

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員(10番) 高田 晃

質問事項	質問要旨	答弁者
1 オリンピックイヤーを好機とした、本市の諸施策について	<p>東京オリンピック・パラリンピックの開催年を迎え、全国各地でスポーツによる地域活性化や交流人口の拡大、地域経済の振興を目指し、様々な事業が行われているところです。</p> <p>そこで、オリンピックイヤーを地域発展の好機と捉える中、本市ではどのような取組を計画しているのか、観光振興や健康増進、教育・スポーツ振興策等を中心に以下について伺います。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックには、多くの外国人の来訪が見込まれていますが、本市でのインバウンドの取組や誘客促進に向けた情報発信についてお伺いします。</p> <p>スポーツ・フォア・オールという観点から、近年パラスポーツが注目されていますが、本市における障がい者スポーツの普及振興策についてお伺いします。</p> <p>生活習慣病には、運動が有効な予防・改善策の一つと位置付けられております。市民への運動(スポーツ)習慣の普及や実施率向上に向けた取組についてお伺いします。</p> <p>幼少期から運動習慣を身に付けることは、将来の健康保持に重要であると言われておりますが、幼児から少年期におけるスポーツ(運動)を通じた体力・運動能力向上策についてお伺いします。</p> <p>オリンピック出場を目指す若きアスリートの育成支援策についてお伺いします。</p> <p>オリンピック開催のレガシーを後世に引き継ぐための、新たな推進体制や環境整備についてお伺いします。</p>	市長 教育長

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員( 6 番) 渡 辺 昌

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 災害対応及び防災の取組について	<p>昨年6月に発生した地震では山北地区において大きな被害が出ましたが、全国各地でも台風による水害など大規模な自然災害が頻発し、防災について考えさせられた一年となりました。そこで、次の点について伺います。</p> <p>昨年6月の地震の際、地元消防団や自主防災会が行った対応や、それぞれの果たした役割について、市では把握されていますか。また、今後の活動の課題となる事例などはありましたか。</p> <p>以前から消防団の団員確保が難しい状況となっていますが、市ではどのように認識されていますか。また、今後の団員確保への対策はどのようになっていますか。</p> <p>市内の町内・集落単位で自主防災会が組織されていますが、その地域の環境等により活動に温度差があるのが現状です。市として、何らかの対応の必要性を感じていますか。</p> <p>消防団と自主防災会の連携について、どのように認識していますか。</p> <p>ここ数年は記録的な降雨等により、避難に関する情報の発令や、それに伴う避難所開設が多くなっています。一般市民や実際に避難所を利用された方などからのご意見などにより、改善すべき点はありませんか。</p>	市 長
2 友好関係にある自治体との交流について	<p>災害時の応援協定を締結している自治体をはじめ、本市と友好関係にある自治体との交流はどのような状況となっていますか。</p> <p>相互理解を図り友好関係をさらに深めるため、</p>	市 長 教 育 長

<p>3 小学校の英語教育について</p>	<p>市民レベルの交流を進めるべきであると考えます。</p> <p>特に、教育の面からも児童・生徒の相互交流は大変重要と考えますが、市の認識を伺います。</p> <p>小学校の英語教育が、平成30年度からの移行期を経て、今年4月から本格的に開始されます。移行期において認識された課題や問題点はどのようなものですか。また、今年4月からの英語教育の本格化に向けて、学校現場において十分な環境整備が図られていますか。</p>	<p>教 育 長</p>
-----------------------	---	--------------

[メモ]



一 般 質 問 通 告 書

質問議員（24番）山田 勉

質問事項	質問要旨	答弁者
1 のりあいタクシーの運行について	<p>近年、高齢者が関係する交通事故が増加しており、運転免許証の自主返納が多くなっているとのことです。</p> <p>胎内市が運行するデマンドタクシーは、複数の方が乗り降りしながら走る「乗り合いタクシー」で、利用する1週間前から1時間前までに電話で予約すれば、土日祝日を問わず毎日、胎内市内のどこからどこまででも送迎し、バスと違って決まったルートや停留所はなく、一緒に乗り合う乗客の行き先等によってルートが決まります。買い物や病院、温泉などどこに行くにも大変便利で、利用料金は300円とのこと。</p> <p>一方、荒川・神林地区のりあいタクシーは、利用日の1週間前から前日までに電話で予約が必要で、乗降場所は限られており、利用料金は区間により100円から900円までとなっています。</p> <p>また、山北地区で運行している山北のりあいタクシーは3月末で運行廃止になると聞いております。</p> <p>村上市でも隣の胎内市を参考にして、市民の目線に立った改善を期待するところですが、市長のお考えを伺います。</p>	市長
2 新型コロナウイルスへの対応について	<p>感染拡大が連日報道されており、その対応が深刻な状況にあると思います。高齢化が進む本市においては、多くの高齢者が入所している介護施設などへの指導が特に急がれると思いますが、対応について伺います。</p>	市長
3 瀬波温泉の活性化に	<p>旧香藝の郷美術館の土地・建物購入に係る損害賠</p>	市長

<p>向けた旧香藝の郷美術館の活用について</p>	<p>償請求の住民訴訟は、原告の請求棄却という判決が確定しました。</p> <p>市が取得してから2年が過ぎました。利活用の内容については、現在、瀬波温泉活性化施設としてモニター利用を募集しているところですが、その進捗状況を伺います。</p>	
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（13番） 嵩岡輝夫

質問事項	質問要旨	答弁者
1 観光振興と旧香藝の郷美術館の利活用について	<p>今期の暖冬によるスキー場の中止、新型コロナウイルスによる影響等観光客入込数の現状をお聞かせください。</p> <p>旧香藝の郷美術館の利活用計画は進んでいますか。進捗状況をお聞かせください。</p>	市長
2 村上市の洋上風力発電事業の取組について	<p>洋上風力発電事業については、国の促進区域の指定を目指して、新潟県が新潟県洋上風力発電導入研究会、村上市・胎内市沖地域部会、環境影響専門部会を開催しています。村上市もこれらの会に参加されていると思いますが、現状をお聞かせください。</p>	市長
3 地方自治における二元代表制について	<p>地方自治は、憲法93条により首長と議会を構成する議員の各々が住民の直接選挙により選ばれる二元代表によるとされていますが、村上市は二元代表制が充分機能していると思いますか。</p>	市長
[メモ]		

一般質問通告書

質問議員(17番) 木村 貞雄

質問事項	質問要旨	答弁者
1 今年の稲作と少雪による水不足等の諸問題について	<p>昨年の稲作の品質低下の状況を踏まえ、その対策をどのように進めるのか伺います。</p> <p>岩船米については、重点技術対策として指導や実証ほによる検証を実施しているとのことですが、その内容についてお聞かせください。</p> <p>極早生品種の開発について、今年度に選定するとのことですが、その内容についてお聞かせください。</p> <p>少雪の影響で今後の稲作において水不足が心配されますが、対策等は考えているのでしょうか。</p>	市長
2 介護予防について	<p>介護予防事業の主な取組と今後の課題についてお聞かせください。</p> <p>転倒予防教室については、集落でできることから取り組みやすい事業かと思いますが、現況と効果について伺います。</p> <p>どのような事業においても高齢化が進むと課題となるのが移動手段であると思います。その課題を少しでも解決しなければと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>介護予防に関する事業を介護高齢課以外の課や社会福祉協議会でも実施しておりますが、今後連携した予防ということを意識し、効果のある取組を実現させていただきたいかがでしょうか。</p> <p>現在は、介護や保育園等も民間で運営しておりますが、介護予防についても今後は民間業者が入ってくる可能性もあるかと思いますが、市長はどのように考えますか。また、もしも民間が参入した場合は、国等の支援はどのようになるのでしょうか。</p>	市長

<p>3 今後の部活動について</p> <p>4 ほ場整備等で残された道路・河川の整備について</p>	<p>うか。</p> <p>学校部活動と地域の関わりについて、現況をお聞かせください。</p> <p>地域の融合型部活動の現況をお聞かせください。</p> <p>今後の部活動について、積極的な考え方で融合型部活動に向けて、市独自で指導者を育成しながら学校教育課と生涯学習課が連携し、地域の融合型部活動のお手本となるような制度設計が必要かと思いますが、教育長の考え方をお聞かせください。</p> <p>神林地区においては、平成の時代に入ると、総合整備事業としてほ場整備が実施され、小中学校も建設され、田んぼも広くなり、用水も蛇口式でとても便利になりました。その関係で学校、保育園、インフラ整備も進んでおります。その反面、道路や河川が未整備となっている現状があり、見通しが立っていない状況と考えますが、今後どのような計画を立てるのか伺います。</p>	<p>教 育 長</p> <p>市 長</p>
<p>[メ モ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 5 番） 稲 葉 久美子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
<p>1 国民健康保険税について</p>	<p>国民健康保険制度は、個人経営者、非正規労働者、年金生活者など低所得者が対象の国民皆保険制度です。今定例会では令和2年度の国民健康保険税増税について審議が行われますが、国民健康保険税を滞納したため保険証返還となり、被保険者資格証明書（国民健康保険資格証明書）が発行され、医療費が全額自己負担となったことから持病が悪化したと思われる事例がありました。そのような角度から以下のことについてお伺いします。</p> <p>本市の国民健康保険に加入している世帯数及び人数と、市世帯数及び人口に対する割合を教えてください。</p> <p>その中で、被保険者資格証明書の発行は何世帯で何人ですか。</p> <p>短期被保険者証の発行は何人ですか。</p> <p>被保険者資格証明書を持つ私の知り合いは、糖尿病から脳梗塞になり、また慢性的な腎臓病の数値が下がって少し悪化していましたが、医療費が10割負担となるため薬を飲んでいませんでした。この人の場合、数年分未納でしたが、65歳の誕生日後からは自動的に年金から引かれるようになってきました。</p> <p>しかし、国民健康保険税と介護保険料が年金から天引きされれば、滞納分を支払う余裕がありません。国民健康保険税の支払いは、病状悪化とも密接に関連するものと思いますので丁寧な説明と支払計画が重要になると思いますが、市長のお考えを伺います。</p> <p>病気予防や健康づくりなど積極的に取り組む自</p>	<p>市 長</p>

<p>2 小・中学校の給食費無償化について</p>	<p>治体を支援する「保険者努力支援制度」において、交付金が拡充されるとのことです。医療費の抑制のみならず病状の悪化を防ぐ観点からも、予防事業に積極的に取り組むべきと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>本市の国民健康保険税について、0歳から18歳までの子どもの均等割無料化は、2,500万円あれば可能と考えます。これまでも一般質問で取り上げてきましたが改めて市長のお考えを伺います。</p> <p>内閣府調査によれば、子どもの貧困が大きな問題となる中で、子どもたちに食事を無料・低額で提供する子ども食堂や朝食を提供する取組も広がっているということです。</p> <p>地域の団体が主として実施している活動は「居場所づくり」が29.6%、「食の支援」が27.3%、「学習支援」が19.5%ということです（平成30年度子どもの貧困に関する支援活動を行う団体に関する調査）。しかし問題なのは、調査に協力した団体の約6割が「活動を継続するための資金が不足している」と回答していることです。</p> <p>しっかりと地域に根差した支援ができるよう、また、子どもたちの体力・気力を付けるためにも、小・中学校の給食費無償化を実施する考えはありませんか。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員( 9 番) 鈴木 いせ子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 新村上総合病院開院に向けた進捗状況について	<p>令和2年12月の開院に向けて、建物も外から大きく見えるようになりました。今年は暖冬少雪で工事は計画どおり進んでいると思われます。</p> <p>今後、より一層市民の命を守る病院としての役割を果たすことを期待して、以下について伺います。</p> <p>新病院は一般病床263床、19診療科が整備されますが、医師の確保に向けどのように取り組んでいますか。</p> <p>新病院へのアクセス道路の整備と交通手段はどのようになりますか。</p> <p>市で設置する救急ワークステーション、病児・病後児保育の運営体制はどのようになりますか。</p>	市 長
2 令和2年度の米政策について	<p>令和元年度の稲作は異常気象により、岩船産コシヒカリの1等米比率は34.7%となりました。これを踏まえた令和2年度の米政策について以下のとおり伺います。</p> <p>この冬は例年になく暖冬少雪となっており、このままでは農業用水不足による干ばつ被害が危惧されます。この影響を踏まえた対策を伺います。</p> <p>近年、県内においては主食用米の作付けが増加しており、飼料用米、加工用米等の非主食用米の生産に移行するようとの国の指導が行われてきましたが、本市の取組について伺います。</p> <p>岩船産コシヒカリは「特A」を外れて何年か経ちますが、復帰に向けてどのように取り組んでいますか。</p>	市 長
3 国民健康保険医療費	<p>今年度、国民健康保険医療費通知書が届きました</p>	市 長



通知書について	が、分かりづらいとの声が聞こえてきます。この通知の趣旨、使途、期待される効果等について教えてください。	
[メモ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（19番） 長谷川 孝

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 のりあいタクシーの利用状況について	<p>交通空白地域・不便地域の解消と高齢者などの通院対応を目的に、各地区でのりあいタクシーを運行していますが、その利用状況について伺います。</p> <p>また、岩船地区では通院対応のりあいタクシーが運行されていません。その理由をお聞きします。</p>	市 長
2 新潟県村上市・胎内市沖における洋上風力発電事業の取組について	<p>昨年国では、再エネ海域利用法における促進区域の指定に向けて都道府県等からの情報提供を踏まえ、既に一定の準備段階に進んでいる11区域（新潟県村上市・胎内市沖を含む）を整理しました。</p> <p>そのうち、地元合意等の環境整備が進捗している秋田県由利本荘市沖を含む4区域については、有望な区域として、協議会の組織や国による風況・地質調査の準備を直ちに開始することです。</p> <p>胎内市では昨年12月25日に、再エネ海域利用法に基づく国の促進区域としての指定を目指すことを念頭に、洋上風力発電事業誘致促進期成同盟会を設立、その会長に井畑胎内市長が就任しています。</p> <p>村上市長の取組の考えをお聞かせください。</p>	市 長
[メモ]		